湖風（うみかぜ）

NALCびわこ彦根・広報誌
第１１６号・平成２８年９月10日
彦根市後三条町１２５（安田武雄方）
電話＆FAX０７４９・２３・２５３７
編集・発行責任者・小林　　博

親を断捨離その３

５．終活の無駄

年をとれば、人に迷惑をかけないで生きられなくなる。医療や介護を始め、葬儀、墓などの死後の事も迷惑をかけることになる。「子供に迷惑をかけたくない」との言葉はきれいごとに過ぎない。かえって子供の生き方を縛ることになる。例えば、人に迷惑をかけたくないと遺産を残こすと、残された者にとっては、葬儀や墓の管理など迷惑になる。家族にはそれぞれの生活がある。無理をして自分の生活が破綻したら元も子もない。様々なサービスを有効に利用しながら親の人生を最後まで支えましょう

６．高齢者をめぐる虐待

介護をめぐる虐待では、夜中に何度も起こされ、昼間は昼間で文句ばっかり言われ、感謝されることもなく、介護を行うという日々が続くと怒鳴ったり、激しい喧嘩をしたりすることが誰しも経験することである。結果、家族による方が介護従事者より100倍近い虐待が確認されている。大きな理由としては、介護保険制度は、要介護者の支援のみで、介護する家族の支援については何らの制度も整っていない。

７．世帯分離

そこで「世帯分離」という方法がある。親と子供が同居していても、それぞれの世帯に分けることである。これは主に、介護費用や保険料を節約するために行われている。世帯分離とは、住民票上のことで、親の世帯と子供の世帯を分けることである。子供の収入が加算されなくなるので、負担する額が大幅に減る。親子の同居は続くが実際に親を捨てるというわけではない。　　（安田）

びわこ彦根広報板

〔７月の活動記録〕

時間外預託点数　６点　（１人）
奉仕活動点数　　３点　（３人）

〔運営委員会・月例会〕

実施　　８月２日（火）ＰＭ１：３０～
予定　　９月６日（火）ＰＭ１：３０～

〔７月度の経過報告〕

*宅老所の開催実績
おしゃべり４回１５名　パソコン０回
卓球４回８名　読書１３人　６冊
チビッコサロン　９組１８名

〔助け合い〕　０件

〔福祉調査センターの活動〕

実施　　８月　０件
予定　　９月　０件

〔連絡事項〕

・８月２３日（火）午前１０時～定期総会を行いました。出席者は、９人です。
『議題』は、全て議論し検討されました。「おしゃべりサロン」と今後増加する予定の「第三者評価」について検討をしました。

・同日、午後１時半から法政大学の落語研究会の披露が行われました。会員以外にも多くの方が来ていただき、20数人の皆さんが集まって下さいました。
座長の篠山健太郎君を含め３名の学生が、落語や手品を披露してくれました。学生は１年生が２人、３年生が１人という構成です。１人15分程度の持ち時間で５回、学生らしい演目を披露してくれました。